

内閣府大臣政務官
自由民主党 衆議院議員
 埼玉一区 (岩槻区・瀬区・練区・児沼区)

村井 ひでき 通信 増刊号



衆議院議員 村井ひできです。国政に送っていただいてから5年。我々の生活に身近な政策を立案し、総理や官房長官など政権トップに直言することで、様々な政策を実現して参りました。今年8月には政権の筆頭政務官に任命され、緊張感を持って、経済財政政策や社会保障改革などの重要課題に当たっております。

本号では、国政2期目・約3年間の村井ひできの活動について、写真とともにご紹介させていただきます。改めて振り返ると、皆様の御支援のお陰様で、徐々に責任ある立場を任せられ、全力で国政の課題に取り組んだ3年間でした。今後も政策本位で、全身全霊、職務に精励して参ります！

① 全力で政策立案！

二人で様々な会合に出席

小泉議員と記者会見に臨む様子



子育て世帯の支援は、待ったなしの課題です。核家族化が進み、共働き世帯が一般的になるなど、子育て環境は大きく変化しました。子育ての第一義的責任は勿論家族にあるとしても、もはや子育てを「家族任せ」にできる時代は終わりました。今こそ、社会全体で子育てを支える方向に、大きく舵を切るべき時です。

そして、我が国最大の課題である少子化を食い止め、経済活性化・持続可能な社会保障を実現し、この国の閉塞感を打破していく。その思いで、小泉進次郎議員と二人三脚で活動を続けてきました。

～ 小泉議員からのメッセージ ～



村井さんには「人生100年時代の社会保障」、「こども保険」などの政策提言にあたって、提言案の執筆・理論武装から党内の根回し、メディア対応まで獅子奮迅の活躍をしてもらっています。

同年代の同志として、今後も一緒に明るい未来づくりのために戦っていきます。地元さいたまの皆様の村井さんへの更なるご支援を何卒よろしく願います。

小泉進次郎議員と「子育て支援」の抜本拡充を問題提起！

若手議員「メディア登場回数No.1」！

② メディアから注目を集める

共同通信に掲載された挿絵。左から村井、小泉議員、安倍総理。

BS11「報道ライブ21」に出演時の1コマ



こうした活動は、メディアでも度々取り上げられ、私自身、当選回数2回以下のいわゆる若手議員の中で、メディア登場回数NO.1となりました。

上の挿絵は、2017年4月24日共同通信「小泉世代 台頭する覚悟～安倍一強の空気打ち破れるか～」より。左から村井ひでき、小泉議員、安倍総理。政策決定過程において若手の存在感が高まっていると評価されました。

また、村井ひでき個人としても、メディアを通じて情報発信する機会を多数頂きました。

～ 主なメディア掲載 ～

- 2017/08 [雑誌] Wedge
OPINION「こども保険」は税に過敏な国民性の”映し鏡”
- 2017/07 [雑誌] 最新医療経営 PHASE3
U-40が語る「医療経営」～「第2創業期」に適したセーフティネット構築を～
- 2017/05 [Web] 朝日新聞 DIGITAL
自民若手提案のこども保険 安倍1強下の「小さな革命」
- 2017/04 [新聞] 共同通信
小泉世代 台頭する覚悟 “安倍1強”の空気破れるか
- 2017/04 [TV] 国会トークフロントライン
少子化対策は喫緊の課題 財源はこども保険で！

③ 政権中枢へ

2017年8月7日、内閣府大臣政務官を拝命しました。

9月11日、いよいよ人生100年時代構想推進室が始動。



我々の活動は、自民党を動かし、政策の方向性を変えることに成功しました。村井ひできや小泉議員の主張を実現するため、政府に「人生100年時代構想会議」が設置され、村井自身が、政権の筆頭政務官に任命され、運営に参加することになりました。

政治は変わらない。そう思っている方も多いと思います。しかし、私は、この3年間の活動を通じて、政治は変えられると確信しました。徹底した子育て支援・少子化対策で明るい日本を創る。改革は、あと一歩のところまで来ています。

内閣府大臣政務官として改革を実現へ！

～ 大臣政務官とは？ ～



「大臣政務官」とは、大臣・副大臣とならぶ政務三役の一つで、大臣を補佐し、各省庁の仕事をリードすることが期待されています。私が補佐するのは、茂木敏充 経済再生担当大臣と麻生太郎 財務大臣兼金融担当大臣の金融部分となります。23名いる政務官の中でも、筆頭の政務官に位置づけられ、政権中枢に最も近いところで重要政策を担当します。

写真で見る 村井ひでき 国政2期目の活動

年金・医療・介護、社会保障政策はライフワーク！

国会質問の様子



初当選以来、一貫して厚生労働委員会に所属。地域包括ケア実現に向けた医療介護総合確保推進法など、持続可能で充実した社会保障実現に尽力して参りました。現在は、働くほど年金額が減額される在職老齢年金制度の撤廃や、さいたま市の医療体制の飛躍的向上につながる順天堂大学病院の誘致などに取り組んでおります。

現場に根ざした、都市農業の推進！

地元の小学生と田植えを行った際の様子



初当選時から取り組んできた「都市農業振興基本法」が2015年4月に施行。これまで、都市農地は、「将来宅地化すべきもの」とされてきましたが、基本法では、防災・環境など都市農地の多面的機能を評価し「都市にあるべきもの」とその位置づけを転換しました。都市と田園が共存するさいたま市の魅力向上につなげます。

地元の活動の中で何う皆様の声が原点です！

毎朝行う二階幹事長との打合せの様子



昨年度は、二階幹事長の下、副幹事長を務めました。副幹事長は、幹事長を補佐して、党内の幅広い懸案に取り組む若手の登竜門的ポジション。36歳（当時）での副幹事長は、中曽根康弘さんが61年前に37歳で経験して以来の歴代最年少でしたが、政策的にも政局的にも様々な仕事を経験させてもらいました。

中小企業目線で、経済の好循環を推進！

世耕経済産業大臣に提言を渡した際の様子



経済活動は本来自由であるべきで、政治・行政の介入は望ましくありません。しかし、大企業があるのも、また現実です。行き過ぎた不正を是正し、大企業が得た大きな利潤を、中小企業やそこで働く人々に還元をする。そのための、大企業の取引適正化の行動計画をまとめました。

北朝鮮の脅威に対し、万全の安全保障体制を！

アウン・サン・スー・チーさんとの面会の様子



北朝鮮の核・ミサイルは、差し迫った脅威です。ミサイル迎撃システムや日米同盟の強化など、万が一への備えは勿論ですが、「対話」と「圧力」を基本として、国際社会と連携した外交努力も重要です。この3年間、岸田外務大臣（当時）に随行して諸外国を訪問するなど、外交現場で、日本の立場への理解を広めました。

家族が4人になりました！

次男のお宮参りに伺った調神社裏庭にて



この3年間でプライベートも大きく変わりました。長男が2015年1月に生まれ、次男が今年6月に生まれました。現在は、夜中も元気いっぱいな二人を前に改めて世の中のお父さん・お母さんの大変さを実感する日々を過ごしています。家族に感謝しつつ、子育て世代の代表として、引き続き国政に全力で取り組んで参ります。

【村井ひできミニプロフィール】

昭和55年さいたま市生まれ。37歳。家族：妻・長男（2歳）・次男（3ヶ月）。
浦和市立別所小学校卒業。東京大学卒業後、財務省入省。ハーバード大学大学院修了。平成23年財務省退官（主税局参事官補佐）。平成24年12月第46回総選挙初当選（96,242票）。平成26年12月第47回総選挙再選（105,760票）。
現職：内閣府大臣政務官、埼玉県野球協会会長、埼玉県サイクリング協会会長



地元事務所

国会事務所

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-27-9
TEL:048-711-3241 / FAX:048-711-3242

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館911号室
TEL:03-3508-7467 / FAX:03-3508-3297